

A 初回調査は条件を限定しなかったため具体的な意見は得られず。次回は今回の意見を踏まえ基本計画案を作成し実施予定。

Q 今後の観光戦略について問う。

A 八十里越開通に向け道の駅新設や交流拠点整備を進める。営業戦略室は日常業務が多く、人員体制にも課題があり、観光協会の再編を機に改善予定。外部専門人材や地域の団体、事業者と協働した協会の在り方を検討中。スピード感を持って効果的な手法で展開する。

組織改革と人事戦略

Q ★プロジェクトシンカの総括について問う。

A 組織の課題整理と方向性が定まり、所管課で取り組みを継続中。①業務改善 ②ペーパーレス化 ③職員意識調査。

Q リンクアンドモチベーション(L&M)との協定について問う。

A 調査により職務階層間の意思疎通不足や部署間連携の弱さ、特定階層でのエンゲージメント低下が明らかとなり、L&Mから説明を受け、課題解決のアクションプランを策定、実行して

給食調理場の老朽化と労働環境について

Q 調理場の老朽化対策はどうか。

A 機能的には問題なく、現施設を活用していく。

Q 熱中症予防対策で、空調服導入等を迅速に進めてはどうか。

A エアコンは設置済み。対策を検討したい。

誰もが安心して介護を受けられる体制を

Q 訪問介護報酬引き下げで、事業所は経営難だ。報酬の減収分や夜勤手当、交通費等を市が直接支援してはどうか。

A 国の責任であり、独自支援は考えていない。

Q 下田地域の介護サービス提供や利用の実情はどうか。

A 下田地域に訪問介護事業所はないが、圏域外の6事業所でサービスを提供し、在宅介護が困難な状況はない。

いる。

燕幸男議員の質問

授乳スペースの整備について

Q 市民総合窓口を設置されている授乳室は、空間が狭く、空調が効いていないのか、落ち着いて授乳等を行えるスペースとは言えない。衛生的で安心して利用できるよう授乳室の移設や再整備を含め、授乳スペースを整備してはどうか。

A 他のスペースの活用や環境の改善に向けた検討を現在行っている。



三条市役所市民総合窓口にある「授乳室」

安心して搾乳できる環境づくりにについて

Q 公共施設や職場、商業施設において搾乳できる環境を整えることが重要である。授乳室での搾乳しやすい

西川重則議員の質問

下田地域の小学校の統廃合について

Q 小中一貫教育制度の下、嵐南小学校をはじめ、裏館小学校、一ノ木戸小学校、大崎小学校に巨額を投じ、新校舎の建設で対応した。令和10年4月予定の下田地域の統廃合では、財政難から新校舎は建設せず、5つの小学校から1校を選んで使用する方針とのこと。

教育行政の公平、平等の見地からいかかなものか。また、令和15年度には下田中学校に統合させるならば、令和10年度の統廃合に併せ、校舎を建設して対応すべきではないか。

A 市内で教育環境に格差があつてはならないと強く認識している。ただの郷学園の5校舎はいずれも建設年数が古くはなく、それを活用していくことが現実的な考え方ではないかと示したものの、校舎の在り方は、統合後の教育環境を形成していく上で非常に重要な事項であり、統合準備委員会で議論していただく。今後、さらに少子化が進む中、校舎を建設することは現実的ではない。

工夫や職場などで必要な人が安心して搾乳できる環境づくりに取り組んではどうか。

A まずは市内公共施設の授乳室に搾乳できることを掲示するとともに、商工会議所や商工会を通じて、市内事業所に働き掛けを行いたい。



中学生の通学時における荷物の負担軽減の対策について

Q 荷物が重過ぎて、健康面や安全面の不安が大きい。軽減に向け、どのような対策を講じているのか。

A 学校には、家庭学習に必要な教科書等があれば学校に留め置き、登下校時の荷物を軽くするよう指導している。今後も周知徹底を図っていく。

男性へのHPVワクチンの接種費用助成について

Q 接種費用を一部でも助成できないか。

元旦マラソン大会の見直しについて

Q 八十里越の開通も視野に入る。元旦マラソンも55年を数え、八十里越マラソン大会に衣替えして、新たなスタートにしてはいいかがか。

A 元旦マラソンに代わる八十里越マラソン大会の実施は困難。マラソン大会の在り方は、団体と協議したい。



新たな歴史の1ページ

酒井健議員の質問

副市長について

Q 上田前副市長の評価と次期副市長について伺う。

A 市の発展に大きな役割を果たし、

A 現時点では助成の予定はない。

武藤元美議員の質問

学校給食の無償化を

Q 物価高騰の影響で、給食の量や質の保持が厳しい。国は学校給食無償化を決めたが、具体化が見えない。市が無償化に踏み出し、国を後押ししてはどうか。

A 無償化した場合、恒常的に約5億円が必要。国の責任で行うべきで市単独の給食費無償化は考えていない。

来年度以降、食材価格高騰分を市が負担し続けることは困難。保護者負担の検討が必要。

Q 給食センターを開放し、欠席児童・生徒に給食を提供する自治体がある。市も始めてはどうか。

A 居場所として一定の効果は分かるが、今後の研究課題としたい。



地域課題の解決に貢献してもらった。後任人事は可能な限り早期に示したい。

ガーナ共和国ホームタウン認定

Q SNS等での炎上の原因と市民への説明について伺う。

A 国内外で事実と異なる内容を含む報道や情報発信がなされ拡散した。事業主催者のJICAに経緯の検証と今後の取り組みについて国と共に検討するよう要請を行った。今後とも国際親善、相互理解といった目的を踏まえ、理解と協力をお願いする。

米の仮渡金

Q 稲作農家への支援と学校給食における影響を伺う。

A 支援はこれまでと同様に考えている。三条市の給食は米飯が基軸、価格上昇をもって主食の変更は考えていない。

獣害対策

Q 猿のGPS装着による位置情報確認システム導入について伺う。

A 活用に向けた検討を行う。